

白山山系緑の回廊における  
「緑の回廊」整備特別対策事業に関する調査

報 告 書

平成15年2月

近畿中国森林管理局



#### 上. 四塚山を過ぎたあたり（長坂）から尾添尾根を望む

加賀室跡は、加賀室火山（30～40 万年前に誕生、P.8 参照）の活動の中心といわれている。室跡を中心とする尾根（尾添尾根）には、火山噴出物が分布する。時代が古く、浸食が進んでいるため、かつての火山地形はほとんど残されていない。

尾添尾根には、加賀禪定道が通っている。加賀禪定道は、平安時代前期に成立した白山禪定道のひとつで、当時、修行僧はこの道を利用して白山山頂へ登拝した（P.18 参照）。

#### 下. 御手水鉢あたりから見た地獄谷

地獄谷は、古白山火山（10～14 万年前に誕生、P.8 参照）の活動の中心といわれている。この地形は、古白山火山の山頂部の大崩壊によってできたと考えられ、当時の標高は 3,000m を超えていたと推定されている。

なお、上写真の右手に見える緩斜面は清浄ヶ原で、古白山火山の火山斜面をなしていた名残である。

写真はともに環境科学株式会社撮影

# 目次

I. 調査の目的と方法	1
1. 調査の目的	1
2. 調査項目及び調査体制	1
II. 白山山系緑の回廊の概要	2
1. 概況	2
2. 位置	2
3. 面積	3
III. 白山山系緑の回廊の自然・社会環境の概況	5
1. 気象	5
2. 地形	7
3. 地質	9
4. 土壌	10
5. 植物（被子植物、裸子植物、シダ植物、菌類（キノコ類））	11
6. 動物（哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、陸産貝類）	14
7. 歴史	18
IV. モニタリング調査手法の検討	21
1. モニタリング調査の実施項目	21
2. モニタリング調査の中長期的な展望	26
参考文献	27
参考資料	29

# I. 調査の目的と方法

## 1. 調査の目的

森林は、きれいな水や空気を生み出すとともに、貴重な野生動植物を育み、そのすみかとして大切な役割を果たしている。深く豊かな自然に恵まれた白山山系の森林を管理する近畿中国森林管理局では、森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、森林生態系の保全、野生動植物の保護、遺伝資源の保存等を目的に設定している保護林の機能をこれまで以上に発揮させるため、野生動植物の生息・生育地に広域的なつながりをもたせ、種の多様性を保全することを目的として、平成14年3月、各保護林を連結する『緑の回廊』を新たに設定した。同年9月には、『「緑の回廊」整備特別対策事業実施計画』を定め、白山山系における森林生態系の一層の保護・保全に努めている。

本調査は、実施計画に基づき、白山山系緑の回廊の自然・社会環境に関する資料調査を行うとともに、今後のモニタリング調査手法を検討することを目的としたものである。

## 2. 調査項目及び調査体制

### ◇調査項目

調査項目は、以下に示すとおりである。

#### ①現況把握調査（資料調査）

- 1) 気象
- 2) 地形
- 3) 地質
- 4) 土壌
- 5) 植物（被子植物、裸子植物、シダ植物、菌類（キノコ類））
- 6) 動物（哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、陸産貝類）
- 7) 歴史

#### ②モニタリング調査手法

- 1) モニタリング調査の実施項目の検討
- 2) モニタリング調査の中長期的な展望の検討

### ◇調査体制

調査等の主な作業は、環境科学株式会社への委託により実施した。



## Ⅱ. 白山山系緑の回廊の概要

### 1. 概況

白山山系緑の回廊は、石川県、福井県、富山県と岐阜県の4県にまたがって位置する。

気候は、日本海型の気候区に属し、全国でも有数の豪雪地帯である。冬期の積雪は、回廊\*の山麓部でも3mを超え、白山山頂付近では12m程度に達するとされている。気温は冷涼で、年間を通して降水量が多い。

回廊の最高峰は白山の御前峰(標高2,702m)で、この山塊を中心に標高1,500m～2,000m級の山々が稜線を連ね、複雑に開析の進んだ壮年期の地形を呈する。また、白山や経ヶ岳の山頂部付近には、火山活動によりもたらされた火山地形がみられる。

現存植生を概観すると、回廊の中腹部は主にチシマザサ・ブナ群団から成り、標高が高くなるにつれてササ・ダケカンバ群落やオオシラビソ群集に推移し、白山山頂付近にはコケモモ・ハイマツ群集等が存在する。山地帯(ブナクラス)と亜高山帯、高山帯の3森林帯が主体となっている。動物相についても、植生の垂直分布に伴って、山地帯から高山帯に至るものまで、多種多様な種が生息している。特別天然記念物のニホンカモシカやツキノワグマ、ニホンザルなどの大型哺乳類をはじめ、天然記念物のイヌワシもみられる。

白山は、古くから神々の宿る神聖な山として信仰され、富士山・立山と共に日本三名山(三霊山)の一つに数えられている。時代を経て、信仰の対象から動植物等の学術的研究や芸術の対象にまで興味の分野は広がり、今日では森林生態系保全等の観点からも注目されている。

\*：回廊とは、「保護林」と「緑の回廊」の両方を表す(P.3参照)。

### 2. 位置

白山山系緑の回廊の位置は図-1、関係市町村は、以下に示すとおりである。

- ◇石川県・・・金沢市  
石川郡(白峰村・吉野谷村・尾口村・河内村)
- ◇福井県・・・大野市  
勝山市
- ◇富山県・・・東砺波郡(上平村)  
西砺波郡(福光町)
- ◇岐阜県・・・大野郡(白川村・荘川村)



図-1 白山山系緑の回廊の位置図

### 3. 面積

白山山系緑の回廊は、森林生態系保護地域などの『保護林』と、それらを連結する『緑の回廊』で構成される（図-2 参照）。各面積は、次頁の表-1 に示すとおりである。



図-2 白山山系緑の回廊の区域図

表-1 緑の回廊及びそれにより連結される保護林の面積

名称		管轄	面積(ha)		
緑の回廊		近	19,366	42,900	
		名	23,534		
	保護林の種類	保護林の名前			
緑の回廊により 連結される保護林  計7箇所 総面積17,604ha	森林生態系保護地域	白山	近 名	7,049 7,777	14,826
	森林生物遺伝資源保存林	犀川源流	近	1,794	
	林木遺伝資源保存林	釈迦ヶ岳	近	30	
		名古屋ドロノキ13	名	7	
	植物群落保護林	千丈平ブナ	近	857	
		嵐谷天然スギ	近	11	
	特定動物生息地保護林	経ヶ岳大型鳥類	近	79	
合 計			60,504		

管轄の凡例 近=近畿中国森林管理局  
名=中部森林管理局名古屋分局